

スペイン. 文学の旅

訳例と解答例

20. 海の叫び(2), p.47

海はあれこれ考える人の気持ちと似ている。海の上げ潮はその喜びであり、引き潮は悲しみである。文明の力に敗退した海は嵐の日になると文明に反撃をしかけてくる。偉大な力となって子供にも貧者にも容赦しない。怒りですべての物を押しつぶしてしまうのだ…

私は岩に腰をおろし、別の岩にしがみついて、この怪物の動きを眺め、目を大きく見開いていた。そのときは苦しい思いがふつきれて幸福な気持ちになっていた。

*L1. reflexión は「熟考」ではなく「写し」ではないのですか？

→【訂正】確かに「写し」つまり、「反映、現れ」ととるほうがよいと思います。訂正します。そうすると、「海には人の気持ちが反映しているようだ」、ということになります。次の例文が参考になります。La alegría se refleja en su semblante.「喜びが彼の顔に表れていた」(María Moliner). また, p.44, L3 に reflejo という形があるので、これも参考になります。

*L2.の por は受身の行為者を示す。

*L3. grande como es の構造は？

→初級では出てこない構文ですが、これは como es grande「それは大きなものなので」という理由をしめす従属文の中の grande が強調されて前に出たものです。

*L6. の主語は「私」ですか？

→もし、第三者だとすると文脈にその手がかりが必要です。一方, L8 の verme は再帰動詞なので, me が「私」を指しています。

*L8. dichoso は主語を修飾した形容詞で、ここでは副詞的に用いられています。

* L8. の *verme* は状態を指す.

* L8. の最後の文の意味が繋がっていない気がします.

→ 作者は、苦しい思いがふっきれて幸福な気持ちになっていた、と言っているのは、自然の驚異を前にして一種の幸福感にひたったのだと思います.

● EJERCICIO, p.48

- (1) 苦情を聞くと、上司はしばらく考え込んだ.
- (2) 手紙を読むと、彼はそれをずたずたに破いた.
- (3) 一度刑が科せられると、それを変更するのはむずかしい.

* (1) の *un momento* は時間的にどのくらいの長さであると予想できますか? 「一瞬」ですか, 「しばらく」ですか?

→ *un momento* は「短時間」を指し, 「一瞬」という意味と「しばらく」の意味のどちらにもなります. この場合は「しばらく」のほうが適切だと思います.

* (3) *impuesta* の不定詞形は *imponer*. cf. *poner - puesto*.